

スピード合格!

'08年版

介護福祉士

直前対策

絶対出る!
予想問題
36問

成美堂出版

切り取って持ち歩ける
重要用語カード

試験3カ月前
からの
合格大作戦

実技試験対策

秘合格テクニック

念には念を!

油断科目ラストチェック

○×問題で超速マスター

全13科目イッぺんに復習!



まだ間に合う!
苦手科目
ピンポイント
攻略

COLUMN

高齢者施設でニーズが高まる音楽療法

～音楽で心と身体の機能回復～

最近、音楽療法が高齢者施設で積極的に用いられるようになってきました。音楽療法は、お年寄りを生き生きとさせ、認知症の改善にも効果的だと注目されています。

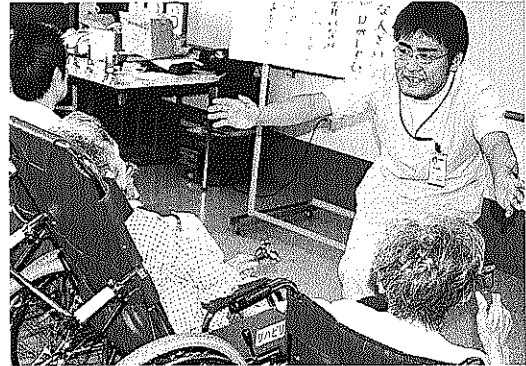
音楽療法とは音楽の心理的・生理的作用を活用して、計画的・意図的に障害の軽減や身体の機能を維持・回復させる治療法のことです。

高齢者に対する音楽療法は、日常動作(ADL)や生活の質(QOL)の維持・向上を目標に、主に音楽鑑賞、歌唱活動、楽器活動などが行われています。

具体的には、高齢者が昔馴染んだ唱歌を歌うことで、その歌詞やメロディーに関連する記憶を蘇らせることができたり、ストレス発散や心肺機能の維持・向上に効果が出たりします。また、ハンドベルやタンバリンなどを使った器楽演奏は身体・感覚機能の改善に加え、高齢者の孤独感が軽減されるという効果が得られているそうです。さらに、外出の機会が少ない高齢者の五感に刺激を与えていく方法として、実際の草花や風鈴といった季節感のあるものを用いながら、対話に歌を盛り込んで進められています。このような音楽療法は、身体機能の維持改善に加えて、高齢者の方の笑顔を取り戻し、結果として生活の質を高めているということです。

音楽療法は対象者の状態を個々に観察し分析しながら進められるので、音楽の技術や知識だけでなく、生理学、看護学、心理学、福祉学など多岐にわたる知識と豊富な臨床経験が必要となってきます。

こうした音楽療法を行う専門家である音楽療



ベルを片手に音楽療法を受けている利用者たち。ベルの合奏はタイミングが難しいが、楽しいと笑顔がこぼれる。

法士の資格は、現在のところ公的な資格ではなく、日本音楽療法学会をはじめ、地方自治体や関連団体・機関等が独自の資格認定試験を行っています。それらの認定試験を受けるためには、音楽系の大学や専門学校を卒業することが最低条件となっています。

日本で唯一の音楽療法の単科専門養成機関として知られる東京国際音楽療法専門学院では、音楽療法士養成のコースは高卒、一般大学卒の人の場合、通学コースで3年間を要しています。しかし、最近は、介護の現場で活躍している介護福祉士、看護師、教師、理学療法士などの有資格者も音楽療法への関心を募らせていることから、学院認定のミュージックケアワーカー資格を設け、新たなコースが開設されることになりました。このコースは、働きながらでも1年間で音楽療法の知識と技術が学べるというものです。より質の高い介護サービスが求められている今、こうした専門のコースを卒業した音楽療法士が介護現場に新たな光を投じるきっかけになることが期待されています。